オープニングメッセージ

目　次

Chapter 1 変革と挑戦　ニッポンハムグループ

Chapter 2 価値創造と成長戦略

Chapter 3 人と社会を支える経営基盤

Chapter 4 コーポレート・ガバナンス

Chapter 5 企業データ

PICK UP

社長メッセージ

会長メッセージ

経営戦略担当役員メッセージ

人事担当役員メッセージ

サステナビリティ担当役員メッセージ

社外取締役による座談会

特集1 ｜ たんぱく質の価値最大化に挑む成長戦略

特集2 ｜ 変革は一人ひとりの挑戦と成長から始まる

特集3 ｜ 社内浸透は「ミドルマネージャー」で決まる

Nipponham Group

https://www.nipponham.co.jp

編集方針

編集方針

「統合報告書2026」は、株主・投資家ならびにステークホルダーの皆様に、年次業績を報告するとともに、「変革」と「挑戦」で企業成長に突き進むニッポンハムグループの現状を知っていただくことを目的に発行しました。たんぱく質の可能性を追求する新規事業や海外展開に加え、「挑戦」を切り口に変革を進めているニッポンハムグループの人財にもフォーカスし、中長期的な価値創造に向けた取り組みについても詳しく説明しています。本報告書をきっかけにご理解を深めていただき、より深い対話に結び付けることができれば幸いです。発行にあたっては、IFRS財団「統合報告フレームワーク」や、経済産業省が提唱する「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス2.0」を参考にしました。

Environment Social Governance
価値協創ガイダンス

対象範囲

日本ハム（株）および国内外の連結子会社72社
（2026年4月1日現在）

対象期間

2025年4月1日～2026年3月31日
掲載内容は、一部報告対象期間以前・以後の情報を含みます。

会計基準に関する注記

2019年3月期第1四半期連結会計期間の連結財務諸表より、国際財務報告基準（IFRS）を任意適用しています。
当社は、2024年3月期第1四半期連結会計期間より、従来「その他」の区分に含めていたボールパーク事業について、重要性の高まりを勘案し、独立して記載しております。

情報開示体系と統合報告書の位置付け

● 財務情報　● 非財務情報

PDFにおける情報開示

- 統合報告書 ●●
- コーポレート・ガバナンス報告書 ●
- 有価証券報告書 ●●
- マテリアリティ進捗 ●
- 決算短信 ●
- 中長期環境目標 ●
- 中期経営計画2026 ●
- TCFDレポート ●
- サステナビリティレポート ●
- TNFDレポート ●
- データブック ●●

Web（HTML）

- IR情報 ●



- サステナビリティ ●



見通しに関する注意事項

この統合報告書には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する見通しの記述が含まれています。これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見通しです。また、経済環境・市場動向・為替レートなどの外部環境の影響があります。従って、これら業績見通しのみに全面的に依拠することはお控えいただきますようお願いします。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと異なる結果となり得ることをご承知おきください。

お問い合わせ先
〒141-6014 東京都品川区大崎2-1-1 ThinkPark Tower
日本ハム株式会社 VBM 推進室　TEL：03-4555-8052　メールアドレス：nhfoods.ir@nipponham.co.jp

オープニングメッセージ

目　次

Chapter 1 変革と挑戦　ニッポンハムグループ

Chapter 2 価値創造と成長戦略

Chapter 3 人と社会を支える経営基盤

Chapter 4 コーポレート・ガバナンス

Chapter 5 企業データ

PICK UP

社長メッセージ

会長メッセージ

経営戦略担当役員メッセージ

人事担当役員メッセージ

サステナビリティ担当役員メッセージ

社外取締役による座談会

特集1 ｜ たんぱく質の価値最大化に挑む成長戦略

特集2 ｜ 変革は一人ひとりの挑戦と成長から始まる

特集3 ｜ 社内浸透は「ミドルマネージャー」で決まる

Nipponham Group

https://www.nipponham.co.jp

目次

株主・投資家の皆様からの疑問、関心の高い事項を、章・ページに対応させています。「疑問・質問に対する「回答」として関連性の高いページをご覧ください。

株主・投資家様の関心

Q1 2026年版の統合報告書で、最も伝えるべき変化は何か?

Q2 過去最高益を達成した今、なぜ"まだ通過点"と位置づけるのですか?

Q3 最高益を一過性で終わらせず、再現性のある強さに変えるために、何を変えるのですか?

Q4 国内市場が縮小する中で、どこに成長余地を見出していますか?

Q5 たんぱく質の会社として、どのように新しい価値を生み出していくのですか?

Q6 マテリアリティへの取り組みは、どのように企業価値の向上につながるのですか?

Q7 成長を支える組織・ガバナンスは、どう進化していますか?



P.17 社長メッセージ
"時代を画する文化を創造し、社会に貢献するため、持続的な事業基盤を構築する"

Chapter 2

P.21 会長メッセージ
"従業員の真の幸せと生き甲斐が企業価値を創る"





P.29 経営戦略担当役員メッセージ
"次の成長を切り拓きます"



P.41 人事担当役員メッセージ
"挑戦と変革を支える人財基盤を事業の力に変えていく"



P.57 サステナビリティ担当役員メッセージ
"事業と一体化し、価値を創出するサステナビリティへ"



P.81 社外取締役による座談会
"企業価値向上を支える対話の力"

Chapter 3-4

Chapter 1 Q1 Q5

変革と挑戦 ニッポンハムグループ

P.7 企業理念とあゆみ
P.9 たんぱく質がもたらす価値
P.11 At a Glance
P.13 事業概要

Chapter 2 Q1 Q2 Q3 Q4 Q5 Q6

価値創造と成長戦略

P.17 社長メッセージ
P.21 会長メッセージ
P.23 価値創造プロセス
P.25 マテリアリティ
P.26 企業価値設計図
P.27 資本とバリューチェーン
P.29 経営戦略担当役員メッセージ
P.32 価値創造経営の実践
P.33 中期経営計画2026の進捗
P.37 DX戦略
P.38 特集01 たんぱく質の価値最大化に挑む成長戦略
P.41 人事担当役員メッセージ
P.43 人財戦略
P.45 加工事業本部
P.49 食肉事業本部
P.53 スポーツ・エンターテイメント事業部

Chapter 3 Q6 Q7

人と社会を支える経営基盤

P.56 サステナビリティマネジメント
P.57 サステナビリティ担当役員メッセージ
P.59 環境保全
P.64 持続可能な畜産
P.65 健やかな心と体
P.66 人権
P.67 健康経営
P.68 特集02 変革は一人ひとりの挑戦と成長から始まる
P.71 特集03 社内浸透は「ミドルマネージャー」で決まる
P.72 ステークホルダーエンゲージメント
P.73 マテリアリティの目標・進捗
P.74 バリューチェーンにおけるESGの取り組み

Chapter 4 Q7

コーポレート・ガバナンス

P.77 コーポレート・ガバナンス
P.79 役員一覧
P.81 社外取締役による座談会
P.85 取締役の選任理由・活動状況ほか
P.96 情報セキュリティ

Chapter 5 Q2

企業データ

P.99 連結財務データ(10カ年)
P.101 非財務データ(10カ年)
P.102 企業情報
P.103 株式情報

P.104 エンディングメッセージ